

# 飯野地区まちづくり計画 Ⅱ

『参加、体験、そして感動』



飯野地区地域づくり推進協議会  
(丸亀市飯野町連合自治会)

# 目 次

はじめに	.....	1
飯野地区の概況	.....	2
人口と世帯数	.....	4
現状と課題	.....	7
まちづくりビジョンの策定	.....	10
行動計画	.....	11
推進体制の整備	.....	12
飯野地区まちづくり計画策定会議メンバー	.....	13

## はじめに

飯野山・青ノ山・土器川に囲まれた温暖で美しく、住みやすい町。それが私たちの住む飯野町です。

わが町を象徴するのは、まず「讃岐富士」と呼ばれる飯野山です。現存する最古の歴史書である『古事記』伊邪那岐、伊邪那美によると国生みの条には、「讃岐國は飯依比古と謂ひ」とあります。この中にある飯依比古は、飯野山そのものです。山麓にある飯神社には神として祀られてもいます。また、飯野町には早くから人々が住んでいました。飯野山・青ノ山の山麓には古墳や遺跡があり、当時の人々の生活ぶりを伺うことができます。

明治維新後、明治二十三年（1890年）には町村制が実施され、その当時の「東分村」「西分村」「東二村」が合併して「飯野村」が誕生しました。昭和三十年（1957年）五月、一部の地域を残して丸亀市と合併し、「飯野町」となり現在に至っています。

四国自動車道、国道11号線も整備された一方では、米作り用の溜池が点在する美しい地域が広がり、五千人超の人々が住んでいます。飯野地区地域づくり推進協議会を中心にいろいろな活動に取り組み親睦を深めています。

また、各神社などを中心にして、「祭り」「神楽」「獅子舞」など伝統的な行事も盛んに行われます。これからも若い人たちにより継承していただきたいものです。

町内の各種スポーツも盛んに行われ、老若男女が大いに楽しんでいることは身心の健康にも大切なことです。

また、私たちの町にも全国的な問題である「少子高齢化」が進んでいます。子ども会活動が思うようにできない自治会も出て来ているようです。地域づくりは、そこに住む人たちによってなされなければなりません。「つくろう人の輪、広げよう心のふれあい」というすばらしい地域のスローガンを目標に私たちは行動することが大切だと思います。

地域の自然は、緑に包まれた美しいものです。そこに住む私たちもこの美しい自然に負けないような美しい心をもって人と接し、よりよい地域社会をつくるよう頑張ろうではありませんか。

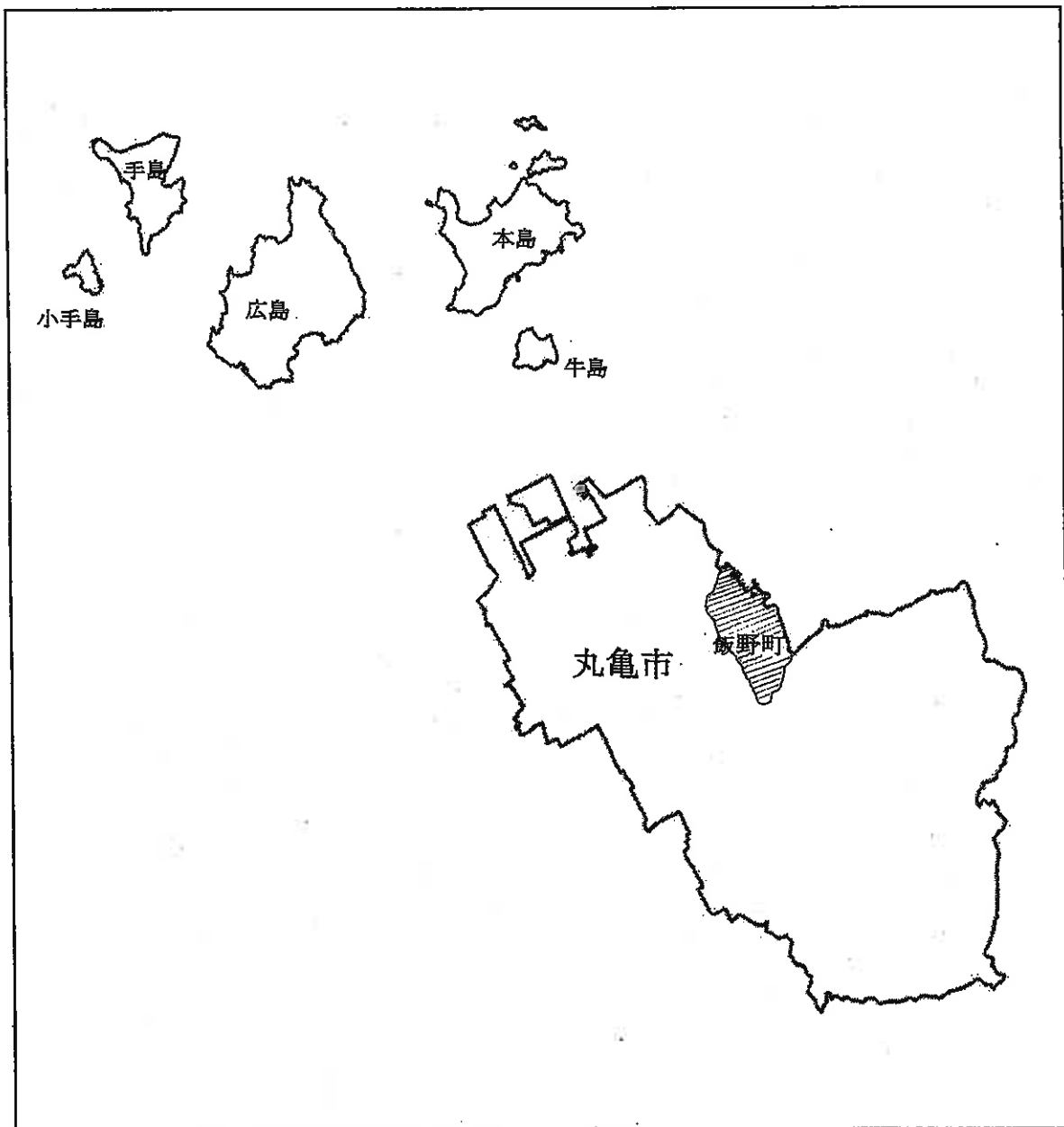
近い将来、南海トラフ地震の発生が危惧されています。災害に対して互いに協力して減災・防災に取り組むことも必要です。また、子どもたちをとりまく環境も大きく変化し、地域で子どもたちを守り育てる地域力が問われる時代です。こうした傾向への対策も、一人一人が自分の問題として真剣に考える必要があります。

平成28年4月1日

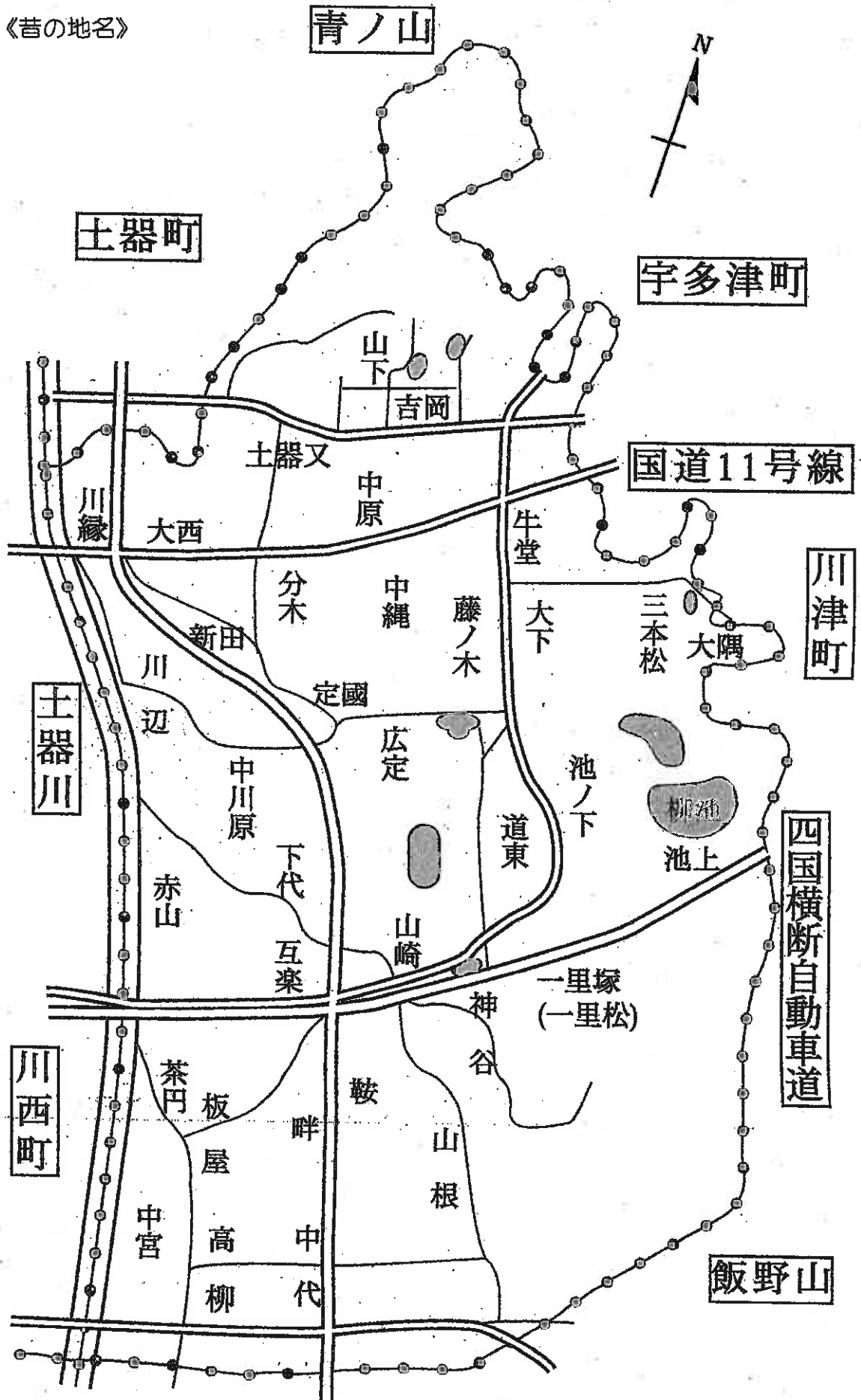
飯野地区地域づくり推進協議会  
(飯野町連合自治会)  
会長 横田隼人

### 【飯野地区の概況】

飯野地区は、丸亀市東部に位置し、讃岐富士(飯野山)のすそ野を中心に南北に長い地域で、北は宇多津町、東は坂出市、南は飯山町に西は土器川に接しています。市内でも比較的農業用地がまとまっているため、米や花き園芸作物づくりを中心とした近郊農業が盛んに行われて来ました。また、人口も漸増しており高齢人口が比較的多いのも特徴です。また、地域内の交通網は、北部に国道11号線が、南部には県道善通寺府中線が東西に横断し、二つの幹線道路を結ぶ市道飯野幹線があり、さらに、四国横断自動車道が東西に横断して、丸亀市の東部入口として要衝の地です。



《昔の地名》



【人口と世帯数】

平成 27 年 10 月 1 日現在の飯野コミュニティの常住人口は 5,081 人で、丸亀市の常住人口 110,513 人の約 4.6%を占めています。5,081 人の内、男性は 2,423 人（47.7%）、女性は 2,658 人（52.3%）と、女性の方が少し多くなっています。

昭和 35 年から平成 27 年までの常住人口と世帯数の推移を見ると、どちらも増加し続けている一方で、人口を世帯数で割った 1 世帯当たり平均構成人員は減少し続けています。

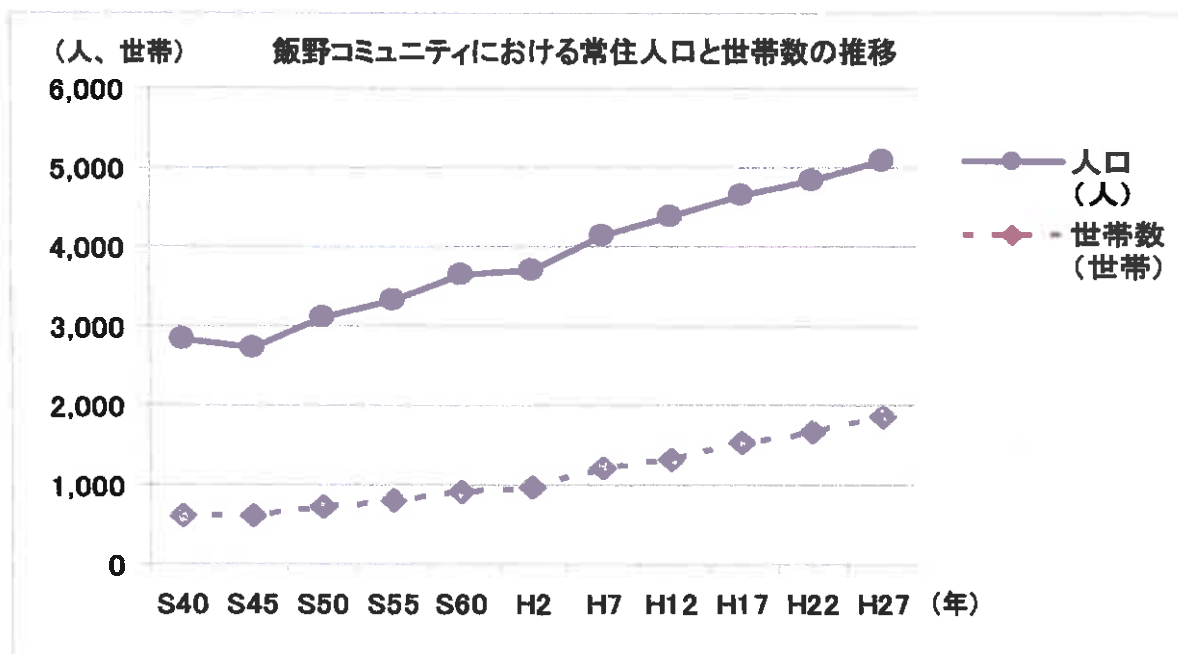
《飯野コミュニティにおける常住人口と世帯数ほか》

	S35	S40	S45	S50	S55	S60	H2	H7	H12
人口(人)(A)	3,037	2,842	2,733	3,114	3,313	3,651	3,696	4,146	4,388
世帯数(世帯)(B)	608	617	632	741	800	923	985	1,205	1,327
A/B(人)	5.0	4.6	4.3	4.2	4.1	4.0	3.8	3.4	3.3

	H17	H22	H27
人口(人)(A)	4,662	4,848	5,081
男性(人)	2,255	2,307	2,423
女性(人)	2,407	2,541	2,658
世帯数(世帯)(B)	1,528	1,670	1,854
A/B(人)	3.1	2.9	2.7

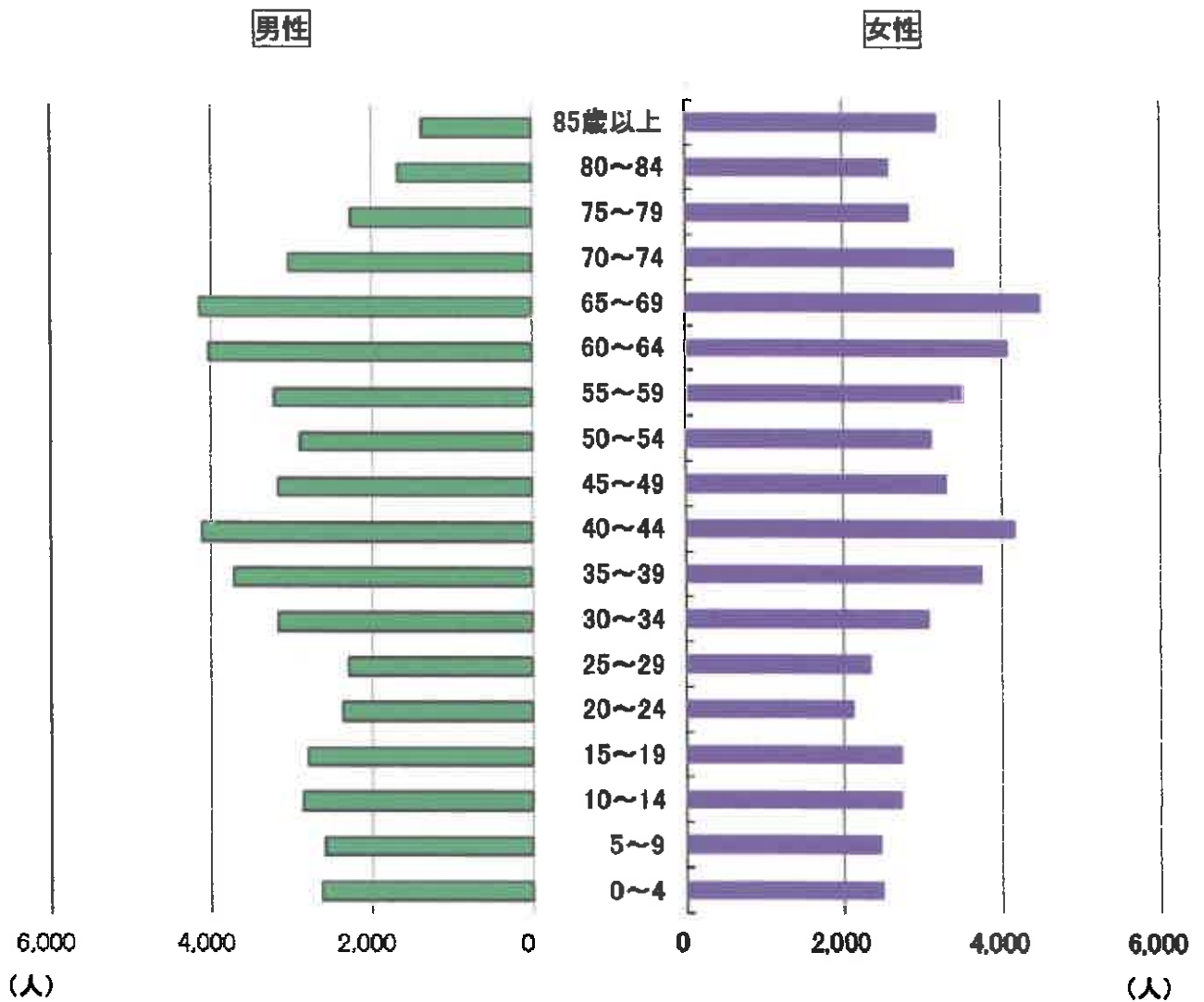
※各年 10 月 1 日常住人口

※1 世帯当たり平均構成人員 (A/B) は小数点第 2 位を四捨五入



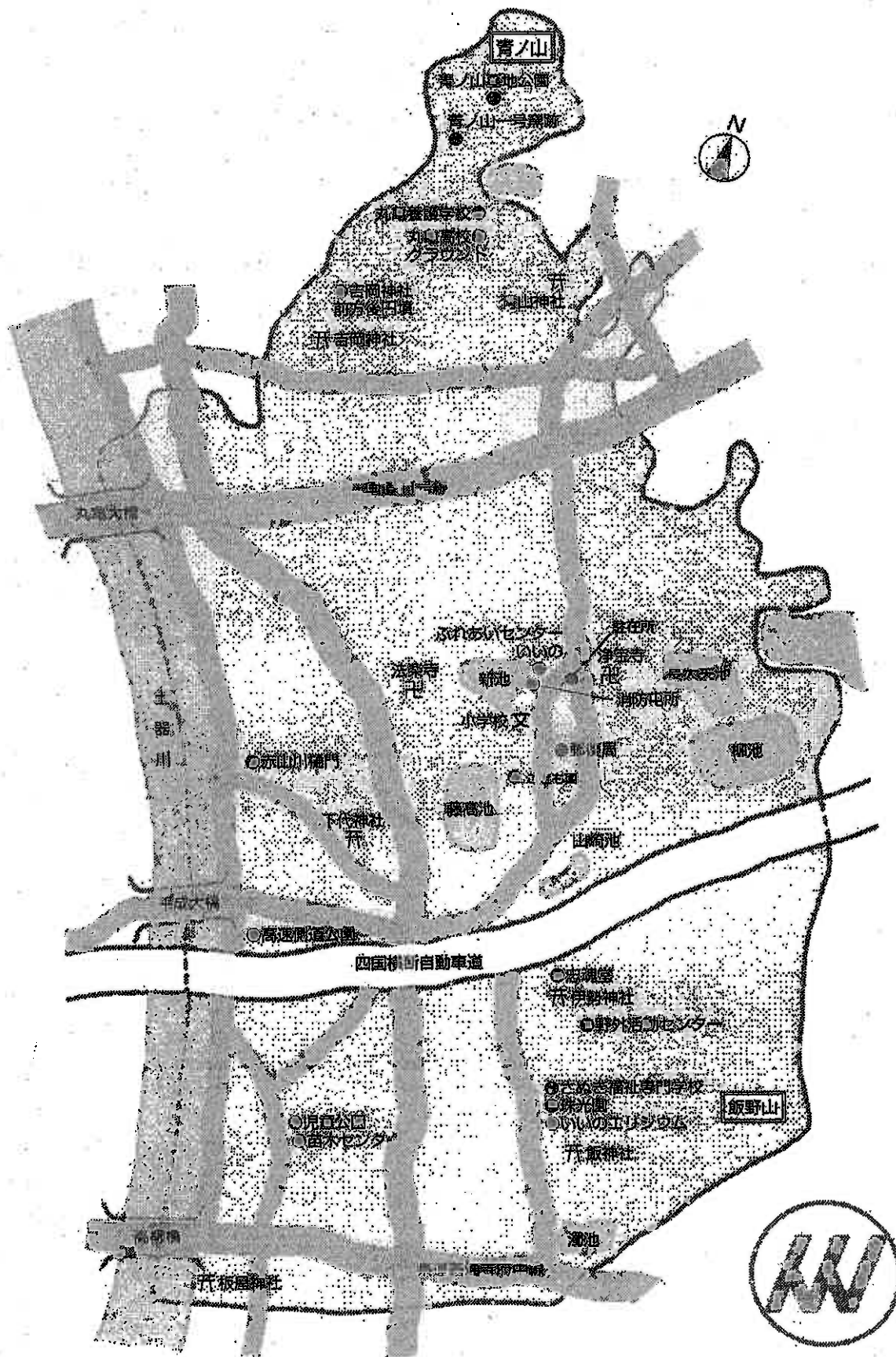
《丸亀市の人口ピラミッド（平成26年10月1日）》

本市の人口ピラミッドを見ると、第1次ベビーブームに生まれた世代（昭和22年～24年生まれ）を含む「65歳～69歳」の人口と、第2次ベビーブームに生まれた世代（昭和46年～49年生まれ）を含む「40歳～44歳」の人口が多くなっています。39歳以下の年代については、減少傾向にあります。



※丸亀市統計書より

《公共施設等の状況》





## 【現状と課題】

飯野地区では、地域づくり推進のため自治会のほか小学校をはじめとする28の各種団体や機関が連携し、飯野地区地域づくり推進協議会に6つの部会を設け、年間を通して事業に取り組んでいます。

近年、新興住宅地の増加に伴い世帯数が増加している反面、人間関係が希薄化し自治会加入率も低下しています。誰もが積極的に参画できる交流事業などの開催により、人とのつながりが強化され、地域の基盤を築くことができれば自治会加入率アップにつながります。

また、核家族化が進むとともに高齢者世帯や一人暮らし世帯が増加しており、高齢者福祉への取り組みも課題となっています。

地域防災の視点からも、コミュニティの結束強化が重要です。阪神淡路大震災や東日本大震災の経験により、町民の防災意識は高まっていると推測できますが、飯野町が大きな被害を受けた経験がないため、防災意識向上のための取り組みは必須です。飯野山や青の山の土砂崩れや土器川の溢水氾濫などの災害も想定した防災訓練を行い避難行動や救助活動の実効性を高めることにつなげるべきです。

平成27年度は飯野地区地域づくり推進協議会発足30周年の節目でもあり、見守り体制やネットワークづくりなど、地域の連絡・連携がとれる体制作りを進め、まちづくりの取り組みをさらに充実させて来ました。

これまで行ってきた事業を固定化することなく、地域の課題を基本に研修会や行事を引き続き実施していくものや、実態を踏まえて新たな事業を加えていくことも必要です。前進性・革新性を失うことのないようビジョン実行の成果や町民ニーズなどを的確に捉えらるとともに、客観的な評価を踏まえ必要に応じ見直しを行っていきます。

### <各種団体・機関>

長寿クラブ・婦人会・体協飯野支部・少年団体・PTA・保護者会・東中協議会  
愛育班・民生児童委員・福祉ママ・土地改良区・農業委員会・農協役員  
交通安全協会・消防団・福祉協力員・飯野クラブ・青壮団連・福祉協飯野支部  
食生活改善推進協議会・更生保護女性会・小学校・保育所・JA丸亀東支店  
駐在所・センター・保護司・人権擁護委員

### <部会>

- (1) 総務部会 = 広報活動、研修会、各種団体との連絡、自治会加入促進等
- (2) 福祉部会 = 友愛訪問、施設訪問、敬老会協力、共同募金等
- (3) 保健部会 = 健康教育、料理教室、集団検診、健康相談、健康展等
- (4) 体育部会 = 体力テスト、綱引き・室内ペタンク・ジョギング・ハイキング大会等
- (5) 環境部会 = ゴミ減量、交通安全、清掃活動、美化運動、年末警戒慰問、環境展等
- (6) 育成部会 = 米作り学習、ふるさと学習、交流学習、子育て支援、補導、人権教育等

<総務部会>



毎月1回「広報いいの」  
編集委員会



市長懇談会



昔の映画館



各種研修会  
「脳外科医による講演会」

<福祉部会>



友愛訪問



福祉マップ



敬老会



共同募金



珠光園慰問

<保健部会>



親子料理講習会



バランス料理講習会



子ども料理講習会



男性料理講習会



健康相談

**< 体育部会 >**



町民体力テスト



町民室内バドミントン大会



綱引き大会



ジョギング・ハイキング大会

**< 環境部会 >**



清掃キャンペーン



交通安全キャンペーン



美化運動



年末警戒慰問

**< 育成部会 >**



米作り体験学習



ふるさと集会



人権集会

## 【まちづくりビジョンの策定】

### I 地域の宝を未来につなぐ“希望のまち”

有形無形の歴史遺産はその時代や地域を代表する顔であり、長い歴史の流れと風土の中で先人たちが守り育んできたものです。今を生きる私たちは、それらを守り、次の世代へと引き継いでいかなければなりません。

このような歴史遺産を受け継ぎ、次の世代へ引き継ごうとする活動そのものが世代間のふれあいであり、コミュニティ活動にとって意味のあることです。

コミュニティセンターを拠点として、「ふれあいまつり」の開催のほか、世代間の交流実施や歴史的遺産を大切にすることにより次世代を育て、地域の宝を未来につないでいきます。

- ① 住民交流(ふれあいまつり、町民体育祭等)
- ② 子どもの育成(ふるさと学習、体験学習等)
- ③ 歴史的遺産の保存・活用(神社、古墳等)
- ④ 伝統行事の継承・発展(獅子、凧、太鼓台等)
- ⑤ 四季の祭りの継承・発展(百手祭り、盆踊り等)
- ⑥ ふるさと教育と生涯学習

### II 自然と調和した“安心できるまち”

飯野山、青ノ山、土器川を身近に感じることでできる風景は、わたしたちの心を癒やしてくれるふるさとの誇りです。また、日々の生活を取り巻く道路やため池、公共施設なども、わたしたちの大切な共通の財産です。この豊かな自然環境や、安全な生活環境は、わたしたちの努力により守っていかなければなりません。

自主防災活動にも取り組みながら、自然と調和した、安心・安全なまちづくりを進めます。

- ① 飯野山、青ノ山、土器川の保全・活用
- ② 花と緑の回廊づくり(花いっぱい運動)
- ③ 町内一斉清掃
- ④ 自主防災活動

### III 人々がふれあう“笑顔あふれるまち”

いつまでも心身ともに健康で暮らせることは、だれもが願っていることです。わたしたちは、気軽に行うスポーツや健康づくりを通して、元気な心と体をつくり、維持していきます。

ですが、ときには、心や体に元気がなくなることもあるでしょう。そんなときは、“お互い様”の気持ちで助けたり、助けられたりすることも必要です。

人々のふれあいを通して、住みなれた場所で住み続けられるまちづくりを進めます。

- ① 住民の相互扶助
- ② 健康づくり

## 【行動計画】

### I 地域の宝を未来につなぐ“希望のまち”

#### 〈重点事業〉

- 歴史めぐりの道整備
  - ・ 看板の修繕
  - ・ 標識等の設置
  
- コミュニティ拠点の整備
  - ・ 町広報「いいの」の発行
  - ・ 町内の各種団体関係機関との連携の充実

〔部会〕 総務部・育成部・特別委員会

### II 自然と調和した“安心できるまち”

#### 〈重点事業〉

- 通学路の整備
  - ・ 用水路転落防止柵の設置
  - ・ 陥没カ所の修繕
  
- 自主防災組織の充実
  - ・ 防災訓練の実施
  - ・ 防災資材の充実
  - ・ 防災マップの作成

〔部会〕 環境部

### III 人々がふれあう“笑顔あふれるまち”

#### 〈重点事業〉

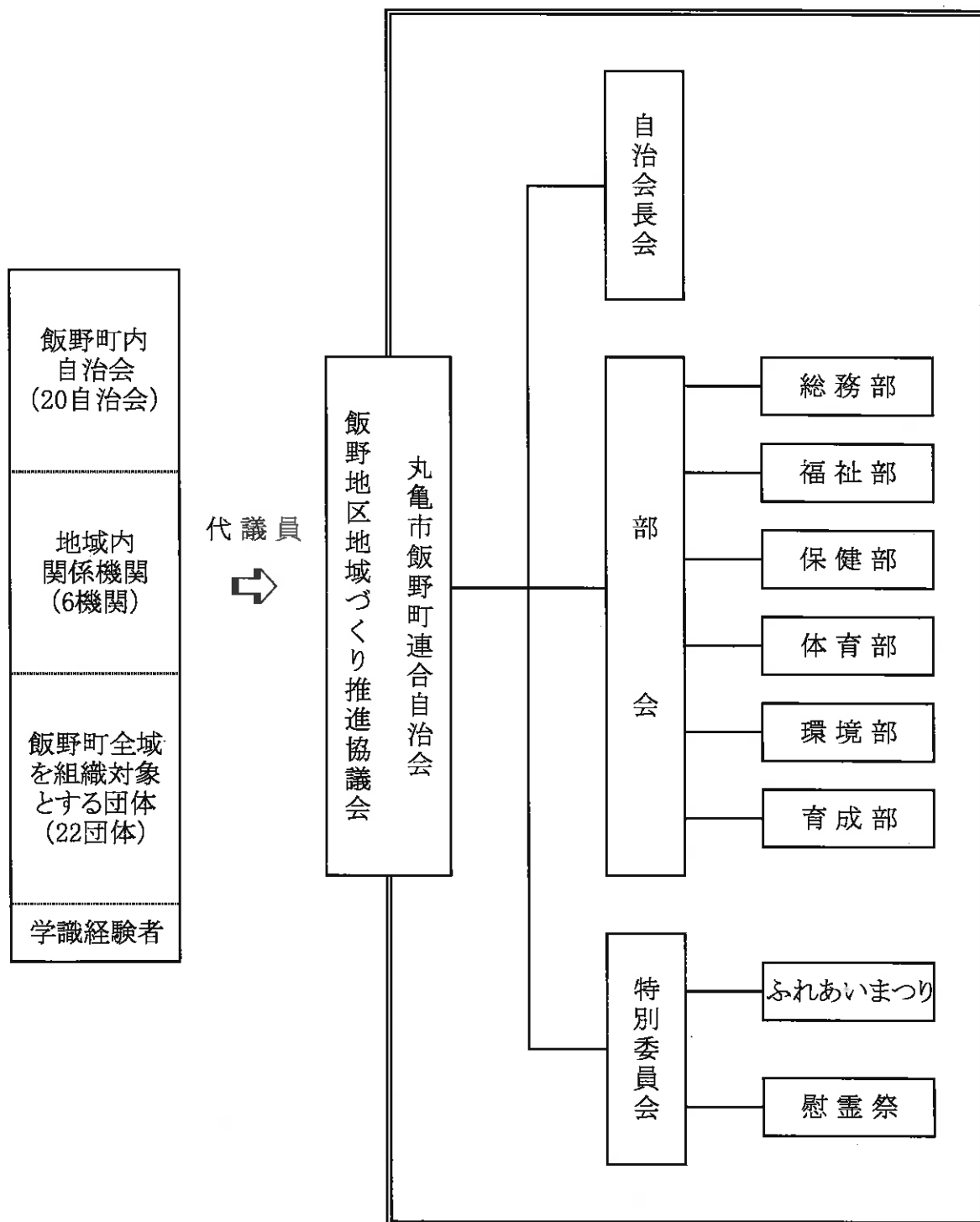
- 世代間交流
  - ・ スポーツ大会の実施
  - ・ 三世代事業の実施
  
- 住民福祉の充実
  - ・ 友愛訪問の実施
  - ・ 料理講習会の実施
  - ・ 子育て支援の充実

〔部会〕 福祉部・保健部・体育部

【推進体制の整備】

地域づくりには、温かいふれあいの中で、住民が自由に参加できるような雰囲気づくりや組織づくりが大切です。

地区内には活動の範囲や対象者が限られている多くの組織がありますが、これらを包括し通期の人々の理解や参加を得るような組織づくりや拠点づくりを推進します。





# 飯野地区まちづくり計画策定会議メンバー

氏名	地域づくり推進協議会・役職(推薦団体)	備考
横田 隼人	会長(学識経験者)	
喜田 和義	副会長(長寿クラブ)	
香川 信一	副会長(体育協会飯野支部)	
前田 香代子	副会長(婦人会)	
有家 仁孝	副会長(自治会長)	
村上 里子	代議員・総務部長(民生委員児童委員協議会連合会)	
横田 邦夫	幹事・福祉部長(民生委員児童委員協議会連合会)	
青木 由子	代議員・保健部長(食生活改善推進協議会)	
平尾 隆徳	幹事・体育部長(体育協会飯野支部)	
西川 俊一	幹事・環境部長(消防団)	
宮武 主基夫	幹事・育成部長(長寿クラブ)	
増田 祐一郎	幹事(自治会長)	
大浦 富士男	幹事(自治会長)	
田多 則子	幹事(婦人会)	
石井 照子	幹事(婦人会)	
平林 由佳	幹事(PTA)	
三谷 秀樹	幹事(小学校)	
村上 安子	幹事(福祉ママ会議)	
稲尾 正成	監事(土地改良区)	
田中 和一	監事(農業委員会)	
藤井 正記	会計・書記(地域づくり推進協議会)	
福濱 義照	顧問(地域づくり推進協議会)	
大林 俊夫	顧問(地域づくり推進協議会)	
山野 正巳	顧問(地域づくり推進協議会)	
大西 貞子	顧問(地域づくり推進協議会)	
中西 紀式	顧問(地域づくり推進協議会)	
田邊 友子	事務局	
岩田 理香	事務局	

( 市役所支援チーム・地域担当 )

谷本 智子(総務部人権課)・高倉 鋭悟(生活環境部スポーツ推進課)・峰松 香菜(健康課保健師)